

マラリア・ノーモア・ジャパン ゼロマラリア 2030 アップデート 第6号
2018年7月発行

1. マラリアワクチン開発

- アフリカにおける世界初のマラリアワクチン
- 日本のマラリアワクチン開発

2. WHO がパラグアイをマラリア排除国に認定

3. G7 シャルルボワ・サミット

4. 青年海外協力隊員による活動：ガーナのサウス・ダイ郡におけるマラリア予防促進活動

1. マラリアワクチン開発

詳細：<https://www.mnmj.asia/wp-content/uploads/2018/07/ワクチン.pdf>

● アフリカにおける世界初のマラリアワクチン

RTS,S/AS01 (RTS,S) として知られている第1世代のワクチンは、世界で最も致命的なマラリア原虫であり、アフリカで最も流行している熱帯熱マラリア原虫に対して作用し、マラリアの影響を最も受けている幼いアフリカの子どもたちを部分的にマラリアから守るものです。アフリカ7か国における厳格な臨床試験の結果、このワクチンがマラリア予防を促進し、命を救う可能性があることがわかりました。ガーナ、ケニア及びマラウイの3か国の各国家予防接種プログラムは、中～高程度のマラリア感染地域におけるマラリアワクチンの試験的導入を2018年から行います。

● 日本のマラリアワクチン開発

日本国内でも、複数のマラリアワクチン開発が行われています。公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金 (GHIT Fund) や国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の支援で、日本の研究機関や企業等が海外の機関と協力して実施しているマラリアワクチンの研究開発をいくつかご紹介します。

2. WHO がパラグアイをマラリア排除国に認定

詳細：<https://www.mnmj.asia/wp-content/uploads/2018/07/パラグアイ Frev.pdf>

世界保健機構 (WHO) は、2018年6月11日にパラグアイをマラリア排除国と認定しました。アメリカ大陸では、1960年から1973年の間に、キューバ、ドミニカ、グレナダ、ジャマイカ、セントルシア、トリニダード・トバゴ、ベネズエラの北部の7つの国・地域でマラリアが無くなったことが認証されています。

3. G7 シャルルボワ・サミット

詳細：<https://www.mnmj.asia/wp-content/uploads/2018/07/G7.pdf>

2018年6月8日及び9日にカナダ・ケベック州でG7 シャルルボワ・サミットが開催されました。2日間の議論を踏まえ、成果文書として「G7 シャルルボワ首脳コミュニケ」が発表されました。「G7 シャルルボワ首脳コミュニケ」では、保健に関し、質が高く支払い可能な保健医療へのアクセスを支援すること等へのコミットメントや、ワンヘルスアプローチによって抗微生物薬耐性（AMR）と戦うためのグローバルな努力を優先・調整すること、結核やその耐性を無くすための取り組みを加速化すること、ポリオ根絶及びその後の遷移の効果的な管理のためにパートナーと協働すること、そして2019年のグローバルファンド増資会合の成功に向けての支援、などが表明されました。

4. 青年海外協力隊員による活動：ガーナのサウス・ダイ郡におけるマラリア予防促進活動

詳細：<https://www.mnmj.asia/wp-content/uploads/2018/07/JOCV-.pdf>

ガーナのボルタ州にあるサウス・ダイ郡でマラリア予防活動を行っている青年海外協力隊の渡辺真奈さんが、日々の活動や「Zero マラリア 2030 キャンペーン」のロゴを使ったキャンペーンについて寄稿してくださいました。

★=====★

発信元：認定NPO法人 マラリア・ノーモア・ジャパン (MNMJ)

Copyright(C) Malaria No More Japan

〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-7-4 秩父屋ビル 8F

Tel: 03-3230-2553 Fax: 03-5275-2020

Web URL: <http://www.mnmj.asia>

Facebook: Malaria No More Japan

★=====★

過去のメルマガは[こちら](#)

本メールマガジンは、メールマガジンに登録された方及び名刺を交換した方々などにお送りしています。万が一重複している場合や配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

advocacy@mnmj.asia